THE 63rd ENVIRONMENTAL ENGINEERING FORUM

第 63 回環境工学研究フォーラム

1. 主催：公益社団法人 土木学会 環境工学委員会（https://committees.jsce.or.jp/eec/）

2. 開催期日：2026年 12月2日(水) ~ 12月4日(金)

3. 会場：あわぎんホール(徳島県徳島市) https://kyoubun.or.jp/shisetsu.html



会場外観



会場地図

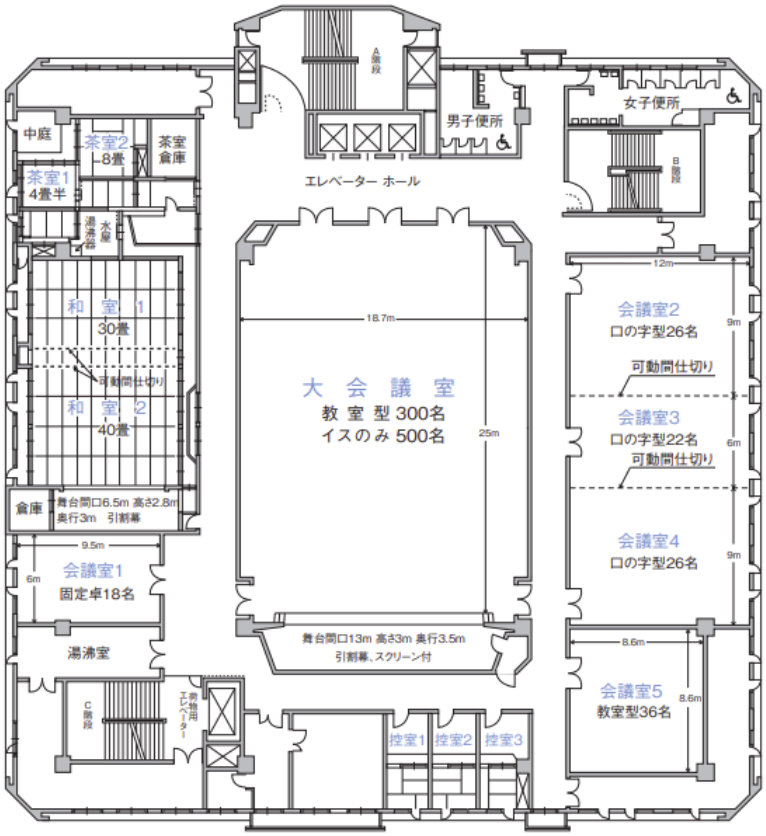
【アクセス】

〒770-0835 徳島県徳島市藍場町２丁目１４

- 徳島空港から：車で約30分，空港バス（徳島駅前行き）約30分
- 徳島駅から（JR・高速バス）：JR徳島駅から徒歩約8分
- 自動車：徳島自動車道徳島I.C.から約25分

【会場詳細】

4階



会議室1（固定卓18名）：事務局用

会議室２～4（口の字型74名，仕切り壁を除き使用288m^2）：ポスター会場

会議室5（教室型36名）：休憩室

大会議室（300 名，イスのみ500名）：第 1 会場，一般公開シンポジウム

エレベータホール側の大会議室出入口付近に受付設営（予定）



大会議室



会議室2（会議室3，4も同じ）

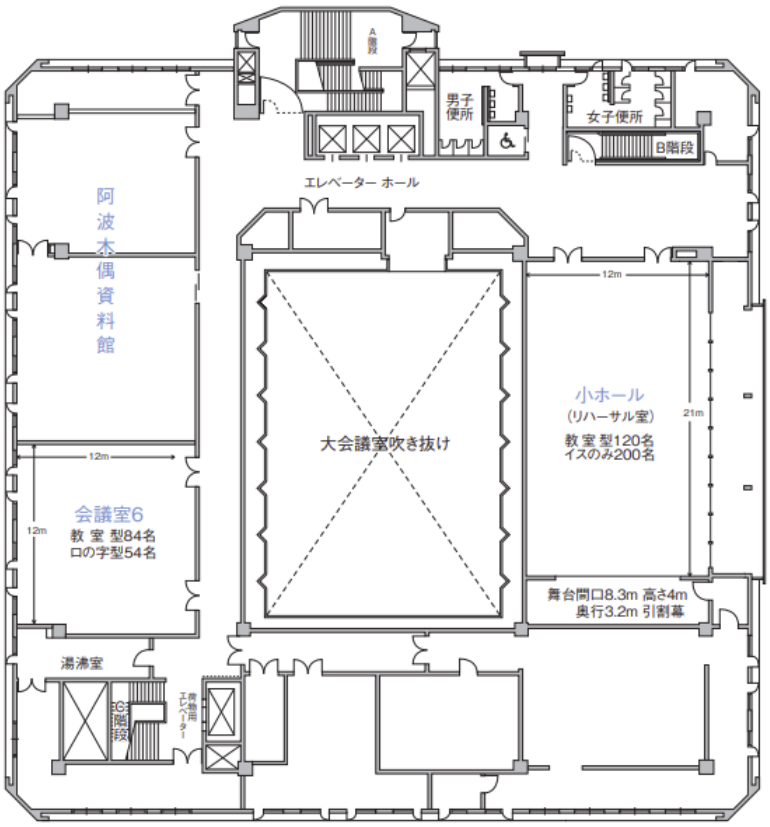


会議室1（固定卓）



会議室5

５階



小ホール（教室型120名）：第２会場

会議室6（教室型84名）：第３会場



小ホール



会議室6

4. 参加費

一般(会員): 11,000 円（税込，事前参加申込の場合),
一般(非会員):13,200 円（税込，事前参加申込の場合),
学生: 6,600 円（税込，事前参加申込の場合）
（注：論文集および講演集代（どちらも電子ファイル版）を含みます。）
（注：当日枠参加受付の場合，それぞれ1,100円（税込）が加算されます。）
（注：学生の参加費については，土木学会学生会員の入会の有無は問いません。）

5. 定員：250 名程度

6. CPD：本講演会は土木学会CPD認定プログラムです。

7. 実行委員（徳島大学，阿南高専，高知高専，徳島文理大学）
上月康則（実行委員長），山中亮一（副実行委員長，幹事長），松重摩耶，東和之，
景政柊蘭，三好真千，三好順也

8. 交流会

日時：12 月 3日（木）18：30～20：30
会場: 阿波観光ホテル　3Fロイヤルパレス
（〒770-0833　徳島市一番町3-16-3）https://www.awakan.jp/
・あわぎんホールより徒歩 8 分．徳島駅から2分
・交流会費： 一般7,500円，学生5,000円（参加費は当日、フォーラム受付にてお支払いいただきます。）
・申し込み締切：11 月13日（金）まで
・参加希望者は、下記フォームで事前参加申し込みください
https://forms.cloud.microsoft/r/zV6NRdps8d


阿波観光ホテル


ロイヤルパレス

9. 日程

12 月 2 日（水）

9:30 -	開場・受付開始
10:00-10:20	開会式(第 1 会場)
10:30-12:30	A 論文発表 (第 1 会場，第 2 会場，第 3 会場)
13:45-15:45	A 論文発表 (第 1 会場，第 2 会場，第 3 会場)
16:00-18:00	A 論文発表 (第 1 会場，第 2 会場．第 3 会場)

12 月 3 日（木）

9:00 -	開場・受付開始
9:00-10:55	ポスター貼りつけ時間帯（ポスター会場)
9:30-10:45	B 論文発表 (第 1 会場，第 2 会場)，BN 論文発表(第 3 会場)
10:55-11:55	ポスター発表第 1 セッション (ポスター 会場)
12:40-13:40	ポスター発表第 2 セッション（ポスター会場)
13:50-18:00	ポスター撤去（ポスター 会場)
13:50-15:50	A 論文発表 (第 1 会場，第 2 会場，第 3 会場)
16:00-18:00	一般公開シンポジウム「環境工学における技術と思想の展開～持続可能な社会のために～」(第 1 会場)
18:30-20:30	懇親会（阿波観光ホテル)

12 月 4 日（金）

9:00 -	開場・受付開始
9:30-11:30	A 論文発表 (第 1 会場，第 2 会場，第 3 会場)
11:40-12:00	閉会式(第 1 会場)

注意事項・お願い

- A論文、B/N論文共に発表データは各会場のパソコンに直接格納してください。特にB/N論文については発表件数が多いため、早めのPCへの格納をお願い申し上げます。可能なら1日目の昼食時間 (12:30～13:45) の間に格納をしてください。
- 現地での宿泊数調査にご協力ください。
- 1日目の第2会場では12:30～13:45の間，環境工学委員会幹事会が開催されます。このためこの会場は当該時間帯の入室はご遠慮ください。発表データの格納をするための入室はこの限りではありませんが、速やかにご退室ください。

10. タイムテーブル

1日目・12月2日（水）

		第1会場 大会議室	第2会場 小ホール	第3会場 会議室6	ポスター会場
9:30 ～	開場・ 受付開始				
10:00 ～ 10:20	開会式・表彰式	開会式・表彰式（第62回環境工学研究フォーラム論文賞・論文奨励賞・英語部門論文奨励賞）			
10:30 ～ 12:30	A論文 セッション	審査付論文 A-1 下水・排水処理（運転管理） 4題 座長：田隝 淳 副座長：飛野 智宏	審査付論文 A-2 微量汚染物質・溶存有機物 4題 座長：黒田 啓介 副座長：原 宏江	審査付論文 A-3 環境モニタリング・予測モデル 4題 座長：神野 有生 副座長：渡辺 謙太	
12:30 ～ 13:45	昼食（1時間15分）		環境工学委員会 幹事会		
13:45 ～ 15:45	A論文 セッション	審査付論文 A-4 下水・排水処理（新技術） 4題 座長：日高 平 副座長：川上 周司	審査付論文 A-5 水源・浄水処理 4題 座長：藤井 学 副座長：安藤 直哉	審査付論文 A-6 生態毒性・曝露評価 3題 座長：藤林 恵 副座長： 池上 麻衣子	
16:00 ～ 18:00	A論文 セッション	審査付論文A-7 嫌気性消化・資源回収 4題 座長：小野寺 崇 副座長：對馬 育夫	審査付論文A-8 水供給システム 4題 座長：小坂 浩司 副座長：宮里 直樹	審査付論文A-9 健康関連微生物 3題 座長：西山 正晃 副座長：李 善太	
18:15 ～ 19:00			環境工学委員会		会場準備

2日目・12月3日（木）

		第1会場 大会議室	第2会場 小ホール	第3会場 会議室6	ポスター会場 会議室2～4
9:00 ～	開場・ 受付開始				
9:30 ～ 10:45	BN論文 セッション	自由投稿発表 B-1 【水環境・生態系】 21題 座長：米田 一路	自由投稿発表 B-2 【水道・下水道・汚泥処理】 23題 座長：安井 碧	自由投稿発表/環境技術・プロジェクト BN-1 【大気・土壌・新規技術】 20題 座長：大石 若菜	ポスター添付
10:55 ～ 11:55	ポスター コアタイム （前半）				ポスター発表 （ポスター番号：偶数）
11:55 ～ 12:40	昼食 （45分）				
12:40 ～ 13:40	ポスター コアタイム （後半）				ポスター発表 （ポスター番号：奇数）
13:50 ～ 15:50	A論文 セッション	審査付論文 A-10 窒素除去・温室効果ガス制御 4題 座長：押木 守 副座長： 段下 剛志	審査付論文 A-11 河川・湖沼水質 4題 座長：鈴木 裕識 副座長： 長濱 祐美	審査付論文 A-12 抗菌薬・薬剤耐性菌 3題 座長：李 善太 副座長： 中西 智宏	ポスター撤去
16:00 ～ 18:00		一般公開シンポジウム			
18:30 ～ 20:30	交流会（阿波観光ホテル 3F ロイヤルパレス）				

3日目・12月4日（金）

		第1会場 大会議室	第2会場 小ホール	第3会場 会議室6	ポスター会場
9:00 ～	開場・ 受付開始				
9:30 ～ 11:30	A論文 セッション	審査付論文 A-13 廃棄物の処理と性状評価 4題 座長：大下 和徹 副座長：髙橋 岩仁	審査付論文 A-14 上下水道システム 4題 座長：山村 寛 副座長：三好 太郎	審査付論文 A-15 水圏生物・微生物の利用と制御 3題 座長：藤林 恵 副座長：小野寺 崇	
11:40 ～ 12:00	閉会式	閉会式・BN論文表彰式			

11. プログラム

1 日目・12月2日 (水)

■ 9：30～ 開場・受付

■ 10：00～10：20

【開会式・表彰式】
開会挨拶, 表彰（第62回環境工学研究フォーラム 論文賞・論文奨励賞）

■ 10：30～12：30

【審査付論文A-1：下水・排水処理（運転管理）】（第 1 会場 大会議室）
座長：田隅 淳　副座長：飛野 智宏

A01　排水処理施設の運転判断の形式知化に向けた機械学習による運転操作量の予測
○細島 悠介・田中 歩美・長井 千里・川岸 朋樹・藤田 昌史

A02　活性汚泥の運転管理指標となりうる細菌の探索 ～バルキングの指標となる細菌の選定～
○並木 健太郎・胡 錦陽・川田 滋久・小原 卓巳

A03　酸素利用速度の測定による有機物除去速度の簡易推定に関する基礎検討
○段下 剛志・村上 堅信・山下 優衣・石井 貴大・江村 範久

A04　複数のフルスケールMBR槽内水から回収したバイオポリマーの膜ファウリングポテンシャル比較
○柴田 華奈・角田 貴之・山村 寛

【審査付論文A-2：微量汚染物質・溶存有機物】（第2会場 小ホール）
座長：黒田 啓介　副座長：原 宏江

A05　日本のボトル水中のPFASの存在実態
○赤井 楓我・吉崎 壮・黒田 啓介

A06　水・土試料の高分解能質量分析による流出土壌回収畑での農薬類の循環挙動の把握と未知化合物の探索
○村上 堅信・鈴木 裕識・矢野 涼介・日恵野 綾香・伊藤 浩二・木村 辰徳・佐藤 英男

A07　自然水を用いた非熱プラズマ処理によるペルフルオロヘプタンスルホン酸(PFHpS)の分解挙動
○宮田 将輝・山本 光一・Shanshan Qing・Bin Yao・竹内 希・藤井 学

A08　都市河川河口域における溶存有機物の分子変質と難分解性成分の形成
○宮下 瑠理・Dilhani Senevinanda・Kushani Rajapaksha・浅井 優多・Jibao Liu・渡辺 謙太・Qing Long Fu・權 垠相・藤井 学

【審査付論文A-3：環境モニタリング・予測モデル】（第3会場 会議室6）
座長：神野 有生　副座長：渡辺 謙太

A09　光学衛星データと空間自己回帰モデルによる河川生物の包括的な広域生息適性指標の探索
○脇野 辰之進・三浦 耀平・佐野 大輔・大石 若菜

A10　伊勢湾におけるモニタリングポスト・衛星観測クロロフィルaの較正式に関する検討
○水口 隼人・松崎 義孝・井上 徹教・松本 大輝

A11　全天球画像から抽出した雲特徴量を用いた30分先日射指数予測モデルの構築と精度評価
○初田 真幸・髙井 さつき・長屋 太樹・福田 絵美・山本 浩平・松井 康人

A12　既設BEMSデータに基づく個別空調設備の電力量変動とベースライン不確実性の検討
○長屋 太樹・髙井 さつき・福田 絵美・松井 康人

■1日目・13：45～15：45

【審査付論文A-4：下水・排水処理（新技術）】（第 1 会場 大会議室）
座長：日高 平　副座長：川上 周司

A13　純酸素供給下における液体ジェットを用いた突入型酸素供給装置の酸素移動特性に関する研究
○川崎 新太・今井 剛

A14　平板状スポンジ担体を用いた新型DHSリアクターによる下水処理性能評価
○瀬下 景・下田代 陽大・朱 興辰・辻林 良祐・長野 晃弘・渡利 高大・山口 隆司・幡本 将史

A15　スポンジ担体を用いた大気中の二酸化炭素によるアルカリ性廃水の中和効果
○倉部 美彩子・小島 啓輔・加藤 雄大・佐俣 莉子・隅倉 光博

A16　高負荷A/O-MBRにおける資源回収ポテンシャルと微生物群集構造の評価
○孫 逸竹・夏 偉哲・葉 敏・李 玉友

【審査付論文A-5：水源・浄水処理】（第2会場 小ホール）
座長：藤井 学　副座長：安藤 直哉

A17　前塩素処理と粒状活性炭処理の組合せによる塩素化および臭素化消毒副生成物の制御
○小坂 浩司・川上 陽介・吉田 伸江・小島 邦恵・東城 まゆみ・越後 信哉・増田 貴則

A18　生物接触ろ材由来細菌による2-MIBおよびジェオスミンの分解特性評価
○瀧野 博之・中西 智宏・浅田 安廣・伊藤 禎彦

A19　EEMオンラインモニタリングデータに基づく原水中のかび臭物質流入イベントの迅速検知
○原（山村）宏江・付 志成・石倉 大裕・本多 了・山村 寛

A20　微細気泡を含む二相流逆洗による除鉄除マンガンろ過器の洗浄効果
○吉田 杏梨・新井 忠男・黒田 正和・渡邉 智秀

【審査付論文A-6：生態毒性・曝露評価】（第3会場 会議室6）
座長：藤林 恵　副座長：池上 麻衣子

A21　多環芳香族炭化水素類とその反応生成物に着目した市街地排水の生態毒性に関する実態調査
○荒木 静遥・市木 敦之・篠塚 実咲・鈴木 樂・井田 真奈江

A22　二酸化炭素固体炭素化装置稼働時における炭素材料に対する曝露評価
○髙井 さつき・長屋 太樹・加藤 伸之・福田 絵美・松井 康人

A23　タンジェンシャルフローろ過および熱分解GC/MSを用いた粒径35 nm以上のナノプラスチック分析法の開発および米試料への適用
○土岐 明日香・田中 周平・小濱 暁子・渡辺 壱

■ 1日目・16：00～18：00

【審査付論文A-7：嫌気性消化・資源回収】（第 1 会場 大会議室）

座長：小野寺 崇　副座長：對馬 育夫

A24　下水処理場における無加温嫌気性消化の季節変動を考慮した適用性評価
森川 拓洋・○日高 平・川口 康平・野村 洋平・藤原 拓・蓮中 勇也・藤原 雅人・坪井 博和

A25　中温域から低温域への温度変化に伴う嫌気性微生物群の温度適応性
○中村 槙吾・渡邊 美紀・今井 剛

A26　Time-dependent rheological modeling of thermally pretreated concentrated activated sludge for CFD-assisted analysis of sludge transport
○Meng Sun, Mohamed Ei Amine Elaissaoui Elmeliani, Natsuki Yamada, Masato Fujiwara, Hirokazu Tsuboi and Mitsuharu Terashima

A27　電気透析を適用した下水汚泥分離液からの肥料元素類濃縮と重金属・抗菌薬の挙動把握
○藤齊 知希・松橋 波生・庄子 征樹・守田 愛梨・竹花 和浩・鳴海 貴之・石川 奈緒・伊藤 歩

【審査付論文A-8：水供給システム】（第2会場 小ホール）

座長：小坂 浩司　副座長：宮里 直樹

A28　低人口密度地域の水インフラ再編の検討方法
○牛島 健・長谷川 祥樹・森野 祐助・長坂 晶子

A29　水供給システムの持続可能性評価に向けた居住動態シナリオ別給水人口分布の推計
○嘉屋 秀大・鳥居 将太郎・小熊 久美子

A30　ラオス・ボリカムサイ県における生活用水の利用実態と水源別の水質・水量評価：健康リスクおよび気候変動による水供給への影響認知との関連
○江端 一徳・松本 嘉孝

A31　南海トラフ地震の発生多様性に対する水道分野の災害対応に関する分析
○平山 修久・久郷 明空

【審査付論文A-9：健康関連微生物】（第3会場 会議室6）

座長：西山 正晃　副座長：李 善太

A32　PEG沈殿法前の固液分離操作と下水中ウイルスの回収率，遺伝子検出効率，検出感度
○吉村 唯・田村 崇・門田 優哉・本多 了・端 昭彦

A33　降雨時における笛吹川の親水利用地点の細菌汚染動態と汚染源関連指標の評価
○米田 一路・福島 蓮・Bikash Malla・大野 竜河・中村 高志・原本 英司

A34　磁気分離濃縮法とマルチプレックスデジタルPCRを組み合わせた下水中の病原微生物および薬剤耐性遺伝子のモニタリング
○平井 聡一郎・村松 歩佳・Sunayana Raya・北野 文萌・齋藤 大史・原本 英司

2日目・12月3日（木）

■ 9：00～ 開場・受付

■ 2日目・9:30～10:45

【自由投稿発表B-1】（第1会場）～水環境・生態系～

座長：米田 一路

B01 直立護岸で囲まれた閉鎖性汽水域での小型魚礁の機能に関する現地実験
本原 将吾・羽﨑 圭吾・庄司 千夏良・〇長谷川 透生・大串 宗一郎・山中 亮一・松重 摩耶・上月 康則 （徳島大学）

B02 尼崎運河における秋季の底層水質変化と水位管理の関係
〇武智 匡城・山中 亮一・上月 康則・重 摩耶 （徳島大学）

B03 リン吸着膜における低濃度リン除去特性
〇関口 颯真・角田 貴之 （信州大学）・山村 寛 （中央大学）

B04 Insight into Oxygen Dynamics During Microbial Processing of Dissolved Organic Matter
〇Dilhani Senevinanda (Institute of Science Tokyo), Qinglong FU (China University of Geosciences), Yuta Asai, Kushani Rajapaksha, Ruri Miyashita (Institute of Science Tokyo), Kenta Watanabe (Port and Airport Research Institute), Masumi Hasegawa (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technolo), Manabu Fujii (Institute of Science Tokyo)

B05 Beyond CRAM: Diverse Molecular Pathways Govern Refractory Dissolved Organic Matter Formation
〇Kushani Rajapaksha, Dilhani Senevinanda, Ruri Miyashita, Yuta Asai, (Institute of Science Tokyo), Kenta Watanabe (Port and Airport Research Institute), Masumi Hasegawa-Takano, (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technolo), Qinglong Fu (China University of Geosciences), Manabu Fujii (Institute of Science Tokyo)

B06 マングローブ由来溶存有機物質の生分解実験における分子特性と窒素含有有機物質の難分解性評価について
〇浅井 優多・Dilhani Senevinanda・Kushani Rajapaksha・宮下 瑠理・Jibao Liu （東京科学大学）・渡辺 謙太（港湾空港技術研究所）・長谷川 万純（海洋研究開発機構）・藤井 学（東京科学大学）

B07 Seasonal and Spatial Responses of Water-Phase PAHs in Bohai Bay to Atmospheric and Riverine Inputs
〇呉 静怡・西 佳樹(Yokohama National University)

B08 ホソウミニナを用いた干潟環境の重金属汚染評価に向けた基礎的検討
〇髙橋 伸太朗（高知工業高等専門学校）・前川 博登（旭シンクロテック株式会社）・東 和之（高知工業高等専門学校）

B09 指定湖沼における難分解性有機物とCODの関連性評価
〇岡村 汐桜・藤井 学（東京科学大学）

B10 ダム堆砂の混合による植物の防御応答活性化と病害抵抗性の向上
〇小野 純平・尾池 祐太・伊藤 司（群馬大学）

B11 異方性クリギングを用いた河川水質の空間補間手法の検討
〇安木 大恵・アマラシリ モハン・佐野 大輔（東北大学）

B12 観測データと数値シミュレーション結果の可視化と定量的比較が可能なWeb GUIシステムの開発
〇松本 大輝・松崎 義孝・井上 徹教（港湾空港技術研究所）・遠藤 匠（Smart Solutions株式会社）

B13　UAV写真測量による浅水底の測量精度に関する現地実験
○草野 響・中野 翔太・神野 有生（山口大学）

B14　里池における多面的環境評価とマイクロプラスチック汚染との関連性
○志村 真輝・神山 真輝・橋本 大史・石川 英司・宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）

B15　水道水源における薬剤耐性大腸菌の存在実態調査および障害調整生存年数に基づいたリスク推算
○寺迫亮太・中西智宏・伊藤禎彦（京都大学）

B16　蛍光分析による水質事故時の油検知と油種判定手法の構築：実河川水への適応性の評価
○池田 和弘・柿本 貴志（埼玉県環境科学国際センター）

B17　顕微鏡画像解析でカビ臭産生*Pseudanabaena*種は判別可能か？ ―機械学習手法を用いた高精度判別モデルの構築―
○服部 啓太・對馬 育夫（土木研究所）・阿部 真己（いであ株式会社）・山口 晴代（国立環境研究所）・浅田 安廣（京都大学）

B18　下水再生水のみが供給される河川における薬剤耐性遺伝子の消長
○中山 泰成・小野寺 岳史郎・赤澤 優弥・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）

B19　マイクロプレートリーダーを用いた再生水中大腸菌および大腸菌群の塩素耐性評価
○荻原 康平・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）

B20　高等学校の生徒を対象とした琵琶湖・淀川水系における一過型水利用の啓発の実例
○山口 武志・古崎 康哲（大阪工業大学）

B21　徳島県鳴門市で繁殖するコウノトリの摂餌行動に関する基礎調査
○森 紗綾香（吉備国際大学）

【自由投稿発表B-2】（第2会場）～水道・下水道・汚泥処理～

座長：安井 碧

B22　水資源制約下における手指付着ウイルスの洗浄除去特性と感染リスク評価
○安井 宣仁・橋爪 大貴（近畿大学工業高等専門学校）

B23　レジオネラ属菌のモノクロラミン感受性変動幅の評価
○門屋 俊祐・米野 久栄（国土技術政策総合研究所）

B24　高分解能LC/MSを用いた水道水中の生分解性有機物の探索および機械学習による類縁体データの網羅生成
○上原 悠太郎（東京科学大学）・新福 優太（国立環境研究所）・春日 郁郎（東京大学）・藤井 学（東京科学大学）・栗栖 太（東京大学）

B25　全国の中小水道事業体における高濁度原水の発生状況および対応に係るアンケート調査
○伊藤 朱花・三好 太郎・増田 貴則・島﨑 大・門屋 俊祐（国土技術政策総合研究所）

B26　異なる樹脂を用いた更生管の温度促進クリープ特性
○柴 博志・宮本 豊尚・阿部 千雅（土木研究所）

B27　3Dスキャナを活用したマンホール調査事例
○久芳 昭仁・宮本 豊尚・阿部 千雅（土木研究所）

B28　下水中溶存有機物分析による蛍光性土壌由来成分定量に 基づく破損した下水管特定の試み
○山本 嵐太・森 秀俊・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）

B29　共焦点ラマン顕微鏡を用いた硫酸塩還元細菌と*Bacillus subtilis*の微生物 相互作用の評価
○酒井 響・伊藤 司（群馬大学）

B30　能動的運転管理による下水処理施設の省エネ化とGHG排出削減の可能性―豊かな水環境と脱炭素の両立に向けて―
○髙橋 真澄・上野 孝司・田村 一郎（㈱東京設計事務所）

B31　適切な栄養塩供給による豊かな海とブルーカーボンの両立を支える技術開発
〇三宮 豊・陰山 晃治・Kenneth Teo Zekai・圓佛 伊智朗（株式会社日立製作所）・
辻村 裕紀（大阪府立環境農林水産総合研究所）・大塚 耕司（大阪公立大学）

B32　下水中の栄養塩を用いた微細藻類培養に与える光の影響
〇天見 有志・ 髙橋 啓太・宮本 豊尚・ 阿部 千雅（土木研究所）

B33　複数の水処理系列での連続計測データに基づく水質・N_2O排出量の変動評価
〇西田 佳記・山野井 一郎・小林 哲也（株式会社日立製作所）・新村 聡士・坂本 悠真・
高城 享・佐々木 怜子・毛利 崇希（横浜市下水道河川局）

B34　下水中インフルエンザA型・B型ウイルスモニタリングにおける 同時定量法および前増幅の適用可能性の検討
〇門田 優哉・田村 崇・岡﨑 亮太郎・江崎 聡（株式会社クボタ）・吉村 唯・端 昭彦（富山県立大学）・本多 了（金沢大学）

B35　抗菌薬添加液体培地を用いた下水試料中の薬剤耐性大腸菌の検出法の開発
〇齊下 尊成・平井 聡一郎・米田 一路・原本 英司（山梨大学）

B36　沈殿微生物の返送を組み込んだ付着培養における混合微生物の沈殿性に関する研究
〇宮崎 真太朗・高部 祐剛（鳥取大学）・堀野 太郎・野口 基治（メタウォーター株式会社）

B37　ケイ酸を間欠的に添加した人工排水を用いた活性汚泥中微生物の動態調査
〇青木 佳南・高橋 英大・落合 優太・金井 大地群馬工業高等専門学校）・池本 良子・
松浦 哲久（金沢大学）・宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）

B38　CEB導入による嫌気性MBRの高フラックス運転
〇高岸 汰知・羽深 昭（北海道大学）・安保 貴永（三菱ケミカル株式会社）・三木 和也（三菱ケミカルアクア･ソリューションズ株式会社）

B39　ケイ酸添加人工下水による硫酸塩還元反応の抑制効果における要因分析
〇落合 優太・青木 佳南・釜田 拓弥・小寺 博也（群馬工業高等専門学校）・池本 良子・
松浦 哲久（金沢大学）宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）

B40　Data-driven analysis of methane production performance in anaerobic digestion
〇Li Yemei・本村 大穂・岡部 聡・押木 守（北海道大学）

B41　多層カーボンナノチューブ添加によるメタン発酵促進メカニズムの検討
〇角田 貴之（信州大学）・大山 尚也・山村 寛（中央大学）

B42　内部循環型プロセスを導入した食品工場廃水処理施設における 水質挙動と微生物叢の解析
〇宇都 大和（東北大学）・安本 さいか・江口 拓・山﨑 卓也（株式会社エステム）・
畠山 享（株式会社ソリトン）・久保田 健吾（東北大学）

B43　海水流入を想定した塩分馴致活性汚泥の排水処理特性および菌叢解析
〇Li Zejun・髙橋 岩仁・佐藤 克己・南山 瑞彦・森田 弘昭（日本大学）

B44　湿潤含窒素固形バイオマスからの嫌気条件におけるメタン・アンモニウム変換特性
〇窪田 恵一・野田 玲治（群馬大学）・石渡 寛之（西松建設株式会社）・渡邉 智秀（群馬大学）

【自由投稿/環境技術プロジェクト発表BN-1】（第 3 会場）～大気・土壌・新規技術～
座長：大石 若菜

B45　アルカリ条件におけるメンブレンバイオフィルムリアクター（MBfR）の メタネーション活性と微生物叢
〇大渡 悠生・泉家 寛人（横浜国立大学）・庄司 仁（西松建設株式会社）・田中 秀治（三機工業株式会社）・新田見 匡（横浜国立大学）

B46　3次元構造体を導入した膜分離バブルカラムリアクターによるEx-situバイオガスアップグレーディング
〇稲村 光亮・羽深 昭（北海道大学）・鈴木 逸人・川上 諒大・川島 圭太（北海道立総合研究機構）

B47　DHSを用いた連続N_2O除去プロセスのpH適応範囲の特定
〇小林 将之・長瀬 和真・前田 稜太・南澤 究・李 玉友・久保田 健吾（東北大学）

B48　屋外スポットクーラーを活用した半屋外空間の温熱環境改善効果に関する研究
〇福田 絵美・髙井 さつき・長屋 太樹・松井 康人（京都大学）

B49　脱炭素化の進展を踏まえた下水処理場の$LCCO_2$の評価―建設時における低炭素コンクリートの効果を含む検討―
〇清水 雅弘・重村 浩之・山下 洋正（国土交通省国土技術政策総合研究所）

~~B50~~　編成上の手違いにより重複登録されていたため削除。

B51　有害化学物質の土壌・地下水移行評価におけるDomenico式 ―漸近展開の主項としての位置付けと適用限界―
〇宮本 健太郎・八十島誠（株式会社島津テクノリサーチ）・江種 伸之（和歌山大学）

B52　金プローブ法の特異性向上のための分析条件の検討
〇山下 穂香・木村 諒子・小関 咲有里・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）

B53　修飾酸化グラフェン複合薄膜による水中からのPFAS除去メカニズムの解明
〇波多野 雄希・Lo Yan Tung・Burzio Cecilia・橋本 崇史・片山 浩之（東京大学）

B54　PFHpSのプラズマ分解処理に及ぼす溶存有機物および底面曝気の影響
〇樋口 裕大・磯部 敏宏・竹内 希・藤井 学（東京科学大学）

N01　日本発のCRISPR診断CONAN法を活用した水中健康関連微生物の高感度かつ高特異度な簡便検査手法の開発
〇鳥居 将太郎（東京大学）・平野 里佳（京都大学）・Made Sandhyana ANGGA・Vu Duc Canh・吉見 一人・北島 正章・真下 知士・小熊 久美子（東京大学）

N02　金ナノ粒子修飾DNAプローブを用いた水環境の微生物分析
〇木村 諒子・山下 穂香・小関 咲有里（北海道大学）・中島 芽梨（国立研究開発法人産業技術総合研究所）・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）

N03　下水中のウイルス検出に向けた前処理自動化装置の改良
〇川田 滋久・平賀 夕佳・並木 健太郎・城田 昭彦・大月 伸浩（株式会社東芝）

N04　汚泥処理プロセスにおける汚泥濃縮と包括的なリン析出を可能とするハイブリッド型電気分解装置の開発
〇高部 祐剛・木下 拓海・佐藤 達明（鳥取大学）・西村 文武（京都大学）

N05　活性汚泥観察における低コスト定量化システムの開発
〇藤井 陸・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）

N06　環境バイオプロセスにおけるIoTを活用したオンラインガスモニタリング技術
〇押木 守・Li Yemei・羽深 昭・稲村 光亮・岡部 聡（北海道大学）・王 謙（名古屋大学）

N07　生産計画情報とハイブリッドモデルを活用した産業廃水処理運転支援システムの開発
〇田中 歩美・川岸 朋樹・長井 千里（三菱ケミカル株式会社）・藤田 昌史（茨城大学）

N08　米菓工場排水処理場の脱水汚泥ともみ殻を用いた連作障害抑止型土壌改良資材の開発
〇小林 志門・青木 優・梅本 暖斗（群馬工業高等専門学校）・幡本 将史（長岡技術科学大学）・黒田 恭平（国立研究開発法人産業技術総合研究所）・宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）

N09　革新的膜処理技術を応用した省エネ・創エネ型嫌気性MBRの開発
○青木 夏・平形 亮太・都築 浩一（信州大学）・井上 洋司（ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社）・堀内 昌樹（ダイネックス株式会社）・小松 一弘（信州大学）

N10　流動生態系シミュレーションシステムEcoPARIの標準化に向けた開発と実務適用に関する学際的共同研究
○松崎 義孝・井上 徹教・松本 大輝（港湾空港技術研究所）

■ 2日目・13：50〜15：50

【審査付論文A-10：窒素除去・温室効果ガス制御】（第 1 会場 大会議室）
座長：押木 守　副座長：段下 剛志

A35　二槽式PN/A法を用いた養豚排水の脱窒処理におけるN_2O発生に関する研究
○髙橋 新・陳 玉潔・久保田健吾・李 玉友

A36　実処理場における硝化抑制運転下の汚泥処理系返流水投入位置変更に伴う窒素挙動および有機物除去特性
○水野 健太・村田 里美・平山 孝浩・小林 伸幸・坂巻 伸一・坂口 洸平・中山 雄喜・髙橋 真澄・依田 修・對馬 育夫

A37　PD/Aプロセスを用いた実下水処理の脱窒性能評価：水質変動の影響とPD/Aの寄与
○夏 偉哲・羅 子彬・孫 逸竹・覃 宇・李 玉友

A38　活性汚泥による亜酸化窒素還元の酸素及び有機物濃度依存性と数理的表現
○藤井 大地・樋口 悠太・齋藤 利晃

【審査付論文A-11：河川・湖沼水質】（第2会場 小ホール）
座長：鈴木 裕識　副座長：長濱 祐美

A39　霞ヶ浦流入河川・恋瀬川における流況および水質の長期的変化
○長濱 祐美・片倉 洋一・福島 武彦

A40　重信川水系における栄養塩類の存在実態と河川における尿素の動態に関する考察
○山下 尚之・姫野光生・泉智揮

A41　保存容器材質による溶存硫化水素濃度への影響と経時水質変化
○杉原 幸樹・管原 庄吾

A42　PRTR届出排出量と水文水質データベース及び将来予測流量を用いた都市河川の流量減少時における化学物質の濃度予測
○北村 友一・阿部 翔太・服部 啓太・對馬 育夫

【審査付論文A-12：抗菌薬・薬剤耐性菌】（第3会場 会議室6）
座長：李 善太　副座長：中西 智宏

A43　UV処理による下水処理水中抗菌薬除去の可能性の検討
○横田 拓海・朝野 生琉・伊藤 朋子・長澤 敦・伊藤 歩・石川 奈緒

A44　堆肥施用土壌におけるESBL産生大腸菌の生残性および接合伝達ポテンシャルの評価
○明下 隼人・Luc Duc Phung・松山 裕城・渡部 徹・西山 正晃

A45　東北地方の一級河川から分離したESBL産生大腸菌の遺伝学的特徴と地理的分布
○菅原 健聖・釼持 ひろ・米田 一路・渡部 徹・西山 正晃

■ 2日目・16：00～18：00

【一般公開シンポジウム】　（第１会場 大会議室）

『環境工学における技術と思想の展開～持続可能な社会のために～』

司会：楠田 哲也（九州大学・名誉教授）

概 要：

私たちを取り巻く社会は多くの課題を抱えています。具体的には、高度成長期に整備した公共インフラの老朽化が進行し、人口も多くの都市で減少し始め、しかも若者の比率が低下するなどインフラの維持管理が難しくなる一方で、温暖化が進行し、しかも大きな災害が多く発生するようになってきています。加えて、持続可能な社会に向けて社会を変革していくことも求められています。

このような状況を受けて、公共インフラや公共サービスにおいても変革が迫られてきています。そこで、公共インフラや公共サービスの質を高めながら持続させることを願う観点に立ち、環境工学における技術の考え方を捉え直し、公共インフラのための技術の使い方を進化させ、持続可能性をも高められるように新たな構想を提案することを目的に、土木学会から「環境工学における技術と思想～持続可能な社会に向けて～」を出版することになりました。このシンポジウムでは、以下のように、この書物の筆者の方々から直接お考えを伺い、それをもとに議論していただくことを願っています。是非ご参加ください。

講演１「環境に関わる技術の考え方」
（東北大学　佐野 大輔 教授）
講演２「水環境分野におけるAI・DXの学術的貢献と、研究者・技術者の役割」
（中央大学　山村 寛 教授）
講演３「水供給系の統合的考え方と人口減少への対応」
（北海道立総合研究機構　牛島 健 部長）
講演４「持続可能な廃棄物処理・資源循環に関わる技術と思想」
（九州大学　中山 裕文 教授）
講演５「環境保全・生態系保全のシステム思想」
（東京科学大学　吉村 千洋 ）
講演６「社会環境変化に対応した持続可能な上下水道システムの構築思想」
（京都大学　伊藤 禎彦 教授）

3 日目・12月4日 (金)

■ 9：00～ 開場・受付

■ 9：30～11：30

【審査付論文A-13：廃棄物の処理と性状評価】（第 1 会場 大会議室）

座長：大下 和徹　副座長：髙橋 岩仁

A46　一般廃棄物焼却灰中の難溶解性塩素含有量に及ぼす冷却方式の影響に関する研究
○嶋家 桜太・小宮 哲平・中山 裕文・島岡 隆行

A47　新築建築工事から排出される建設廃棄物プラスチックの組成特性および物理・化学性状分析
○山下 祐希・Demetrio Antonio Romero Hernandez・大下 和徹・川尻 聡・早川 諒・吉岡 敏明

A48　物理的な粒径制御によるバーミキュライトの層構造とCs固定能への影響
○阿部 剛・藤崎 聡美・吉本 則之・伊藤 歩・石川 奈緒

A49　庭ごみ由来水熱炭化物の炭素安定性および環境安全性評価
○石川 拓聖・黄 仁姫・Piyumi Ayesha Hansani Thennakoon Wickramasinghe・東條 安匡・松尾 孝之

【審査付論文A-14：上下水道システム】（第2会場 小ホール）

座長：山村 寛　副座長：三好 太郎

A50　上下水汚泥一体処理における脱水方法の選定と上水汚泥混合効果のメカニズム解析
○山村 寛・佐藤 亘・新井 喜明・打林 真梨絵・渡辺 義公

A51　開発途上国における上水道及び汚水処理施設整備に伴う公共用水域への負荷排出量算出モデルの構築 －フィリピン国ボホール州タリボン市の事例－
○富原 崇之・北脇 秀敏・荒巻 俊也

A52　水質分析に基づく老朽下水管の時空間的スクリーニングに向けた下水中土壌由来蛍光成分分析
○中屋 佑紀・森 秀俊・山本 嵐太・石井 淑大・佐藤 久

A53　降雨パターン別にみた時系列機械学習による下水流量予測性能の評価
○森 俊仁・藤田 昌史

【審査付論文A-15：水圏生物・微生物の利用と制御】（第3会場 会議室6）

座長：藤林 恵　副座長：小野寺 崇

A54　稚魚が成長促進する閉鎖式循環型養殖システムの開発
○原田 隆大・赤嶺 和磨・南場 充・貝田雅志・山口 隆司・牧 慎也

A55　下水処理水を基質とした屋外培養における珪藻類を増やすための培養条件の検討
○丸山 陽大・米田 一路・佐藤 岳哉・西山 正晃・渡部 徹

A56　トリクロロエチレンを単一炭素源として増殖する*Cupriavidus* sp. KN1-TACの分解特性と捕食影響
○中村 寛治

12. 受賞者

令和7年度第62回環境工学研究フォーラム発表論文より選出

論文賞 2編

「下水汚泥分離液を電気透析することで製造した液肥原料の有害成分に関する安全性評価」
岩手大学　石川 奈緒, 松橋 波生, 藤齊 知希, 竹花 和浩, 鳴海 貴之, 笹本 誠, 伊藤 歩
岩手県北上川上流流域下水道事務所　金澤 清光, 高橋 敏文

「臭化物イオンが高い原水を含む全国の浄水場の臭素化ハロ酢酸やその生成能の実態と低減」
国立環境研究所　小坂 浩司, 吉田 伸江, 小島 邦恵, 東城 まゆみ, 沖縄県企業局　川上 陽介
京都大学　越後 信哉, 国土技術政策総合研究所　増田 貴則

論文奨励賞 1名

山梨大学　坂牧 祐佳
「マルチプレックスデジタルPCRを用いた下水中の薬剤耐性遺伝子の定量法の開発」
（共著者：山梨大学　Bikash Malla, 原本 英司）

環境技術・プロジェクト賞 2件

「土壌由来蛍光成分に着目した下水管老朽化による土砂侵入の検知手法開発」
北海道大学　中屋 佑紀、北林 里佳子、森 秀俊、山本 嵐太、佐藤 久、国土技術政策総合研究所　石井 淑大

「クラス分類アルゴリズムを用いた環境水中ウイルス濃度“レベル”予測モデルの開発」
国土技術政策総合研究所　門屋 俊祐、島﨑 大、増田 貴則、東京大学　片山 浩之

優秀ポスター発表賞 6編

「流域特性の異なる河川の上流から下流における大腸菌と大腸菌群の薬剤耐性率の比較」
宮崎大学　鹿嶋 里夏子、加藤 優貴、船隈 亮太、中村 龍海、西村 恵美、玉井 荘一郎、鈴木 祥広

「ザンビア・ルサカ市周縁地域の環境媒体に分布するロタウイルスAの遺伝子型推定」
京都大学　杉山 麻、原田 英典、浅田 安廣、　国土技術政策総合研究所　門屋 俊祐
国立環境研究所　三浦 尚之、Univ. of Zambia Banda Kawawa

「人口減少下における水道再編のタイミングの評価に関する一考察」
北海道立総合研究機構　牛島 健、長谷川 祥樹、エネルギー・環境・地質研究所　森野 祐助、林業試験場　長坂 晶子

「北海道における地域自律管理型水道の存在状況および水道仕様の体系的整理」
北海道立総合研究機構　長谷川 祥樹、牛島 健、東北大学　佐野 大輔

「遺伝的アルゴリズムを用いた淡水域生態系保全に関わる環境情報の同定」
東北大学　脇野 辰之進、佐野 大輔、大石 若菜

「海水から発生する飛沫に濃縮される呼吸器疾患起因菌の実態」
宮崎大学　船隈 亮太、鈴木 祥広

以上